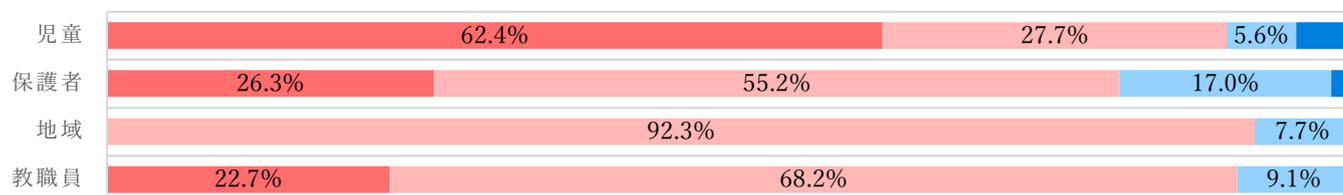


協働型学校評価重点目標「自分や相手のよさを認められる子供を育てる。」について

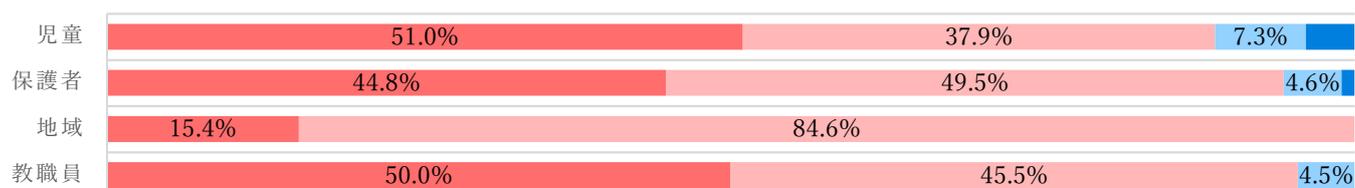
凡例 ■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

子供たちは自分のよさに気付いている



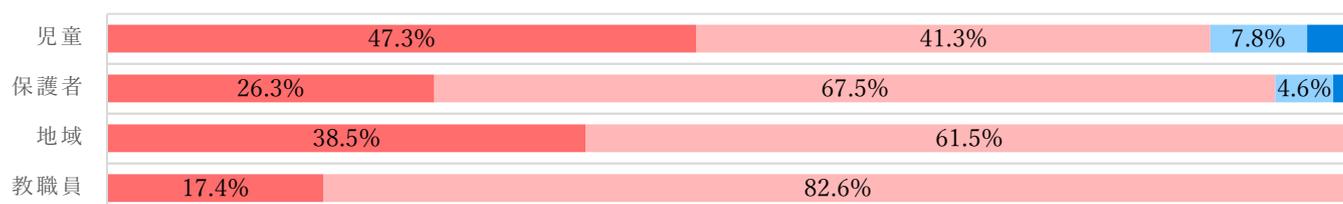
- ・ 90.1%の児童が、肯定的回答（あてはまる+だいたいあてはまる）であり、目標は概ね達成できていると考えます。
- ・ 「あてはまる」と回答した児童が60%以上であるのに対し、教職員・保護者は20%台、地域は0%になっています。育てる側の意識の高さが表れているものと思われます。今後も引き続き子供たちへの賞賛・励ましをお願いいたします。

子供たちは相手のよさに気付いている



- ・ 肯定的回答の児童が88.9%おり、目標は概ね達成できているものと考えます。
- ・ 肯定的回答の教職員は95%を超えました。教職員は、周囲のよさに気付いている子供たちによく気付いていると考えます。この良さを子供たちに伝え、いっそう自己肯定感の向上に生かしてまいります。

学校は子供のよさを伸ばしている



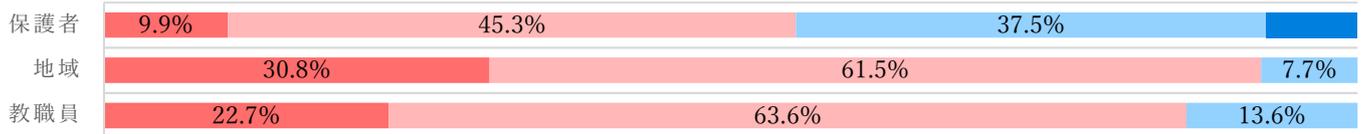
- ・ 88.6%の児童が肯定的に回答しており、概ね達成できたと考えています。しかし、児童の肯定的回答の割合が保護者・地域・教職員と比べ低くなっています。
- ・ 全体への指導はこれまでどおり継続しつつ、個への対応を充実させることで、児童の肯定的回答の割合を高めていきたいと考えています。

家庭は子供のよさを伸ばしている



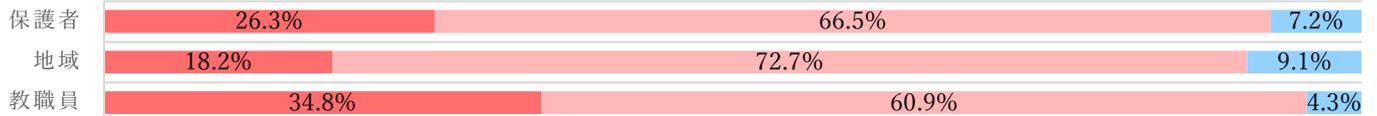
- ・ この項目の回答者は児童のみとなっています。質問内容は「おうちのひとは じぶんのよいところを ほめてくれる」です。87.4%の児童が家庭で褒められていると感じています。
- ・ 今後も引き続き各御家庭でできたことを褒めてくださいますようお願いいたします。

地域は子供のよさを伸ばしている



- ・登下校の見守り，学習活動への支援，学校環境の整備等，地域の方々には日々子供たちのために力を尽くして下さっており，感謝申し上げます。
- ・活動の様子は学校だよりやホームページでお伝えしてきました。今後も機会を捉えてお伝えしていきます。

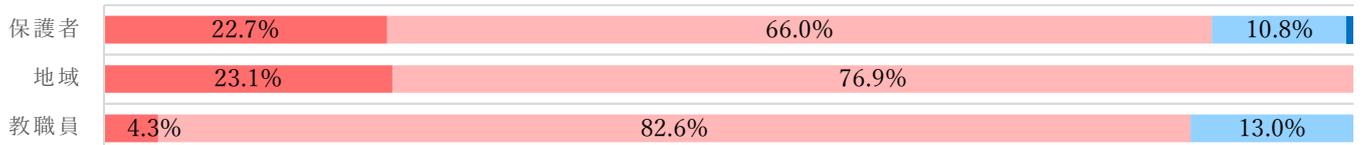
自分は子供のよさを伸ばしている



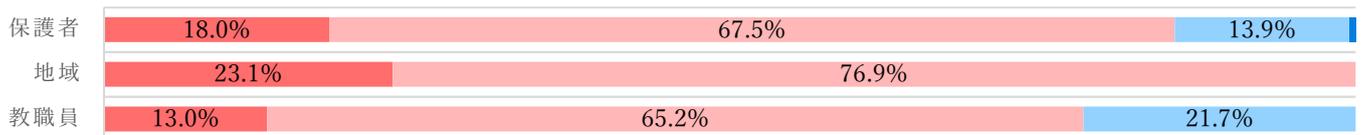
- ・回答者自身について評価していただきました。地域・家庭・教職員とも肯定的評価が90%を超えました。
- ・今後も引き続き皆さんの意識向上につながるよう，情報発信等に努めてまいります。

目指す児童の姿とその具現化に向けた重点事項について

「思いやりがあり，仲良くする」姿が育っている



「よく考え，進んで学び合う」姿が育っている



「健康で根気強い子供」姿が育っている。



- ・目指す児童の姿については，どの項目も教職員の評価が厳しくなっていますが，これは，教職員が全体的な傾向で判断し，回答しているためと考えられます。
- ・教職員は「健康で根気強い子供」について，保護者は「よく考え，進んで学び合う」について否定的な回答の割合が大きくなっています。学校教育目標の達成に向けて，子供たちに分かる授業づくりや体力向上の取組を検討してまいります。
- ・学校の取組について，一定の評価をいただいたと考えております。また，子供たちの姿を更に高めていくことができるよう，令和5年度の重点事項を見直してまいります。